

恋ヶ窪南遺跡発掘調査概報(1987)

頁	行	誤	⇒	正
18	4	剥・破片	⇒	剥・碎片
25	2	10~20程	⇒	10~20cm程
29	3	3.4×3.0cmであり、	⇒	3.4×3.0mであり、
33	24	11, 12号住居址	⇒	12, 13号住居址
53	4	頁石	⇒	頁岩
55	5	感じるが、	⇒	感じる
55	6	遺物少ない様にである。	⇒	遺物は少ない様である。
58	12~13	□ーム土の含有が	⇒	□ーム粒の含有で
58	20	b層も	⇒	6層も
66	7	14号土坑	⇒	13号土坑
74	15	柱穴址の	⇒	住居跡の
82	9~10	34号土※、31号土※ ※土偏に広	⇒	34号土坑、31号土坑
82	9~10	32号土※ ※土偏に広	⇒	32号土坑
83	10	同質である。	⇒	土質である。
85	17	器は	⇒	器面は
86	12	地区に	⇒	特に
92	1	c.早期末葉の	⇒	c.草創期から前期の
94	17~19	4mm程の節で~横位方向斜 め位に列する。	⇒	<全文削除>
94	29	これと器面に	⇒	器面に
104	9	隆帯を待たずに	⇒	隆帯を持たずに
104	10	石英・黒輝	⇒	石英・輝石
108	5	上部からは	⇒	上部には
108	5	下部からは	⇒	下部には
108	16	一方は	⇒	一方の
110	12	剥落は激しいが	⇒	剥落が激しいが
110	13	底部に	⇒	底部で
112	6~7	比較的緻密な棒状の砂岩	⇒	棒状で比較的緻密な砂岩
112	31	ピットと3基	⇒	ピットが17基
113	9	弧線が描かれないうる。	⇒	弧線が描かれている。
136	1	e.中期初頭の	⇒	e.中期・後期の
136	9	沈線を	⇒	<削除>
136	24	三角印刻文が波頭部と	⇒	<削除>
142	15	その形状的に	⇒	形状的に
144	28	既形が	⇒	概形が
144	29	既形に	⇒	概形が
146	11	既形を	⇒	概形を
156	10	□ーム貼は	⇒	□ーム貼床は

156	17	この土坑群から	⇒	a群の土坑から
157	3	充填されおり,	⇒	充填されており,
157	4	用礫が	⇒	用礫が土坑の底部まで充填されており
157	11	機能についての	⇒	機能について
157	11	本遺構で	⇒	本遺跡で
160	26	2軒	⇒	3軒
161	117	図 スケール	⇒	10cmで縮尺は1/3
図版41	下		⇒	2号住居址出土土器(1/3)

2022年3月2日作成